

ホットハートサポーター(土庄町)



平成19年11月、介護予防サポーター養成講座修了者の中で、「何かできることをしたい。」という志を持った者の会として発足。

【ホットハートサポーターの会としての活動】

定例会(情報交換・活動の企画等)、研修会、病院でのお話ボランティア、グループホームとの交流等

【地域でのサロン活動】

平成21年1地区から始まったサロン活動が、平成25年には8地区に増加



【情報交換】



【サロン活動】

《ホットハートサポーターの活動》

- ・地域の高齢者が介護予防に取り組むことができるように支援を行っている。
- ・メンバー自身の介護予防につながっている。
- ・活動を通じて、参加者の笑顔や表情の変化などがメンバーのやりがいや生きがいに繋がっている。





(香川県)

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

① 区町村名	土庄町
② 人口（※1）	15,346人 ()
③ 高齢化率（※1） (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	65歳以上：34.5% () 75歳以上：19.5%
④ 取組の概要	土庄町では、平成19年度から町介護予防サポーターの養成を行っている。介護予防サポーター養成講座修了者の中で、「何か自分ができることをしたい。」という志を持った者の会として『ホットハートサポーター』が発足した。ホットハートサポーターの会としての活動：月1回の定例会や研修会、グループホームとの交流や病院でのお話ボランティアの活動 メンバーが地域で行っている活動：自治会単位でのサロン活動
⑤ 取組の特徴	メンバーの約8割が65歳以上の高齢者であり、最高齢者は82歳である。ホットハートサポーターの活動が自らの介護予防になるとともに、お話ボランティアやサロン活動などを通じて、参加者の楽しそうな笑顔や、表情の変化等がメンバーのやりがいとなり、活動を行うことが生きがいづくりになっている。
⑥ 開始年度	平成19年度
⑦ 取組のこれまでの経緯	平成19年11月に会が発足。 平成19年度～月1回の定例会を開催。活動方針の決定や、スキルアップのための研修会の開催や土庄町で実施している事業の協力等の活動を行っている。 平成21年6月町内の1地区で「地域の高齢者が気楽に集まれる場所づくり」を目的に、メンバーが中心となってサロンを開始した。定例会で活動報告を行うことで、他のメンバーの意識が高まり、現在町内8か所での開催に増えている。 平成22年7月から、「傾聴ボランティアを行いたい」というメンバー希望と、「長期入院患者様が寝たきりにならないように、ベッドから離れて過ごす時間を増やしたい」という町立病院看護師のニーズが一致して、週1回のお話ボランティアが始まった。患者様の笑顔や楽しそうな表情、発語がなかった方と会話ができるようになったなど患者様の変化がメンバーのやりがいとなっている。
⑧ 主な利用者と人数	地域住民 1サロン1回 10人～20人
⑨ 取組の実施主体及び関連する団体・組織	ホットハートサポーター
⑩ 市区町村の関与（支援等）（※2）	活動への助言等の支援、研修会の開催等
⑪ 国・都道府県の関与（支援等）（※3）	





⑫取組の課題	<p>平成19年から介護予防サポーターの養成を行い、現在登録者が112名であるが、ホットハートサポーターとして活動しているのは、その内約30名で全員女性であり、男性メンバーがいない。</p> <p>個々では、近所の一人暮らしや高齢者世帯の方の見守り等も行っているが、地域の見守りネットワークを構築していく中で、どのような役割を持てるのか、今後検討が必要である。</p>
⑬今後の取組予定	<p>現在行っている、取り組みを継続しながら、新たに必要な取組を検討していく。今後、介護予防サポーター登録者へ情報提供を行うことで、自分ができる取り組みに参加する人が増えることで、活動を行うことがメンバーの介護予防や生きがいつくりとなることを目指す。</p>
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	<p>土庄町健康増進課 地域包括支援センター 電話 0879-62-1234</p>

- ※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を()内に記載してください。
- ※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。
- ※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。

